

令和5年度 第1回（通算第54回）
山梨県立博物館 運営委員会 次第

令和5年6月5日（月）午後2時～4時
博物館 生涯学習室

開 会

1 あいさつ

2 議 事

〈 審 議 〉

（1）令和6年度の企画展、シンボル展について 【資料1】

（2）令和6年度の新規研究計画について 【資料2】

〈 報 告 〉

（1）令和4年度の利用者状況について 【資料3】

（2）開催済み展覧会について 【資料4】

・企画展「印章 刻まれてきた歴史と文化」

（3）資料・情報委員会の答申状況について 【資料5】

（4）新型コロナウイルス感染症に対応した展示室の利用制限の解除について 【資料6】

3 その他

閉 会

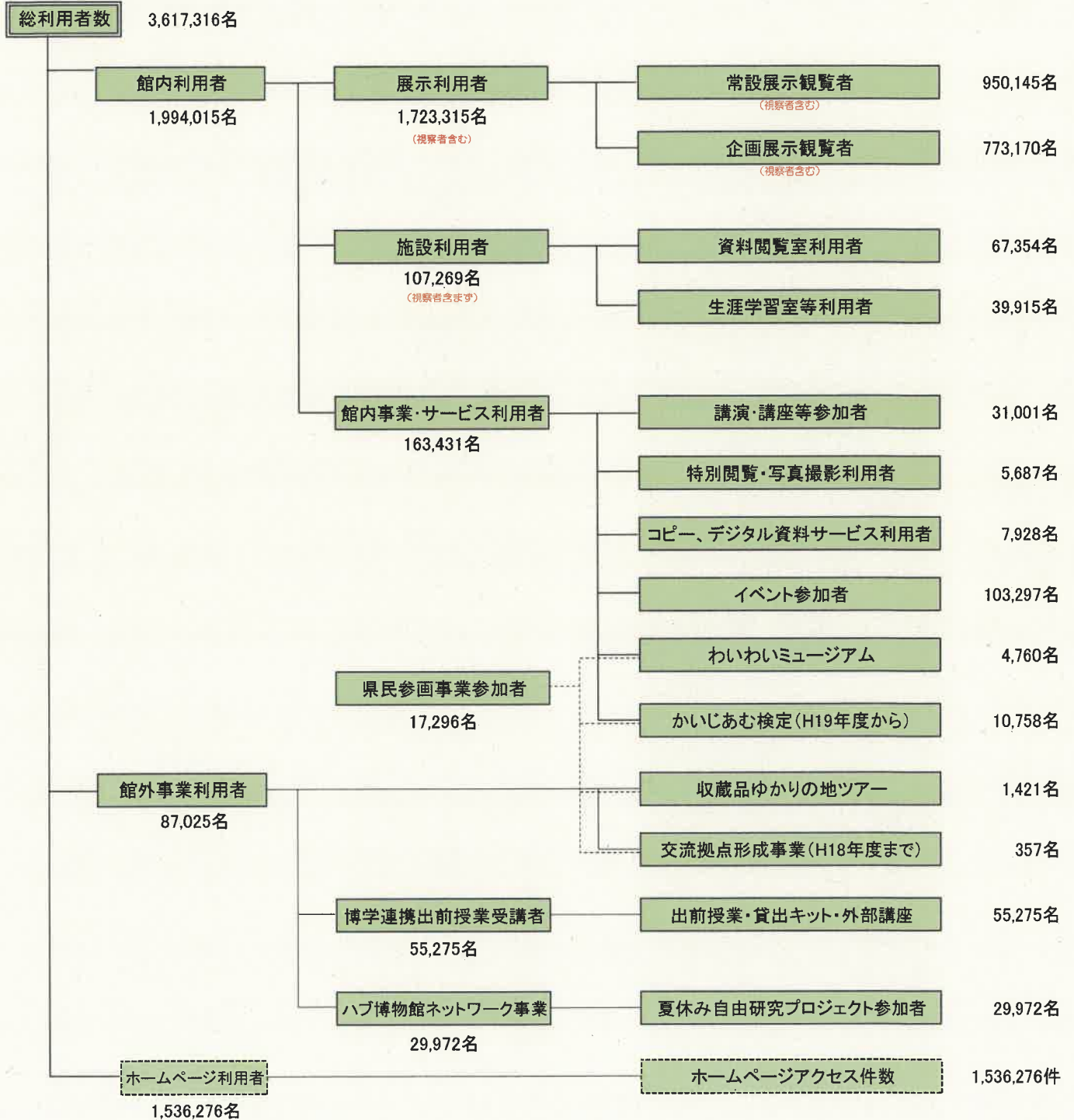
県立博物館における「利用者」の状況

平成17年10月15日～令和5年3月末日まで

令和5年3月末日現在

○博物館の利用者とは、博物館の施設、提供するサービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。
 なお、一部の利用については、総計に重複して表れる性質がある。

○ここに示す利用者数は、開館(平成17年10月15日)以来、令和5年3月末日までの状況をまとめている。



■開館から令和4年度までの年度別入館者統計

令和5年3月末現在

	館内利用者 (a+b+c)											館外利用者						ホーム ページ 利用者						
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)					出版授業等 貸出キット 外部講座	県民参画事業		ハブ博物館 ネットワーキング									
	常設展示 (券券数) (視察)		企画展示 (券券数) (視察)	資料閲覧室 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・講演会 参加者	特別講座・ 写真撮影等 参加者	セミナー・イベント 参加者	わいわい ミュージアム 参加者	わいわい かいらあむ 検定(備考)	外部授業等 貸出キット 外部講座		出張品ゆかり の地ツアー	交流拠点 形成事業										
	常設展示 (券券数)	企画展示 (券券数)	資料閲覧室 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・講演会 参加者	特別講座・ 写真撮影等 参加者	セミナー・イベント 参加者	わいわい ミュージアム 参加者	わいわい かいらあむ 検定(備考)	出版授業等 貸出キット 外部講座	出張品ゆかり の地ツアー		交流拠点 形成事業											
R4	267,334	95,740	85,451	42,870	2,319	37,165	3,097	2,982	2,382	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	1,575	0	0	469	169,550	
R3	26,766	13,271	12,705	5,210	277	6,647	571	252	226	26	314	137	23	63	91	0	0	87	87	0	0	0	13,408	
R2	148,754	36,083	33,842	20,669	1,345	10,933	895	359	67	292	1,882	185	403	102	627	278	287	1,953	1,953	0	0	0	0	110,718
31・R1	245,078	124,889	110,406	51,450	2,805	52,583	3,568	5,046	3,200	1,846	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	4,701	0	0	4,785	0	110,903
30年度	221,157	111,365	94,208	45,437	2,537	43,629	2,605	5,955	3,483	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	3,862	0	0	4,260	0	101,670
29年度	236,110	131,264	111,640	55,118	2,396	50,704	3,422	4,745	3,191	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	4,207	0	0	2,439	0	98,200
28年度	202,665	97,898	79,620	41,133	1,959	33,918	2,610	4,836	2,924	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	4,327	0	0	5,744	0	94,696
27年度	252,303	155,517	140,658	57,879	1,705	77,538	3,536	6,032	4,140	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	4,434	0	0	0	869	91,483
26年度	200,624	109,888	95,994	47,119	1,130	45,502	2,243	5,961	3,609	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	4,740	0	0	0	808	85,188
25年度	213,116	121,898	108,041	57,860	1,864	43,886	2,431	6,605	4,067	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	6,350	0	0	870	0	83,998
24年度	200,181	107,246	91,464	49,341	2,359	37,354	2,410	6,351	2,983	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	6,077	0	0	1,033	0	85,825
23年度	200,843	112,026	96,890	49,858	3,030	40,232	3,770	5,758	3,354	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	3,721	183	0	0	754	84,159
22年度	231,370	145,519	124,081	56,505	3,281	55,858	8,437	6,137	4,080	2,077	15,301	2,937	84	444	11,121	188	527	3,728	2,670	141	0	0	917	82,123
21年度	233,815	145,172	125,928	59,508	1,876	59,780	4,764	6,394	4,399	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	3,871	274	0	0	1,049	83,449
20年度	169,893	97,551	77,681	49,634	1,896	23,785	2,366	8,199	4,754	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	1,076	180	0	0	1,525	69,561
19年度	203,261	126,055	109,082	66,291	1,602	39,305	1,884	10,422	7,306	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	1,317	166	0	0	3,350	72,373
18年度	221,232	149,254	127,856	92,277	2,159	31,905	1,515	12,369	7,957	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,576	156	195	125	125	1,100	70,402
17年度	142,814	113,579	99,768	66,274	1,172	32,304	18	8,866	5,252	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	665	151	282	232	0	0	28,570
計	3,617,316	1,994,015	1,723,315	914,433	35,712	723,028	50,142	107,269	67,354	39,915	1,634,331	31,001	5,687	7,928	103,297	4,760	10,758	87,025	55,275	1,421	357	29,972	1,536,276	

R4年度の月別統計

	館内利用者 (a+b+c)											館外利用者					ホーム ページ 利用者				
	展示利用者 (a)				施設利用者 (b)				館内事業・サービス利用者 (c)			出前授業	県民参画事業		ハブ博物館 ネットワーク事業						
	常設展示 (券券数)		企画展示 (観覧)		資料閲覧 利用者		特別閲覧・ 写真撮影等 参加者		講義・講演会 参加者	デジタル 参加者	イベント 参加者		わいわい ミュージアム 検定	貸出キット		交流拠点					
	(観覧)	(券券数)	(観覧)	(券券数)	利用者	等利用者	参加者	参加者	参加者	参加者	参加者	検定	外部講座	の地ツアー 形成事業	0						
4月	4,443	3,231	1,673	135	1,274	149	155	93	62	1,057	852	13	19	173	0	0	60	0	0	0	9,923
5月	4,364	3,307	2,325	142	736	104	180	120	60	877	23	17	30	807	0	0	121	0	0	0	11,608
6月	2,875	2,557	2,322	235	0	0	137	110	27	181	76	15	27	63	0	0	316	0	0	0	11,855
7月	12,001	11,336	5,201	209	5,689	237	370	343	27	295	91	20	22	162	0	0	195	76	0	0	18,068
8月	25,971	23,449	9,717	461	12,539	732	701	684	17	1,821	79	16	41	1,685	0	0	147	0	0	0	25,624
9月	7,392	7,012	3,591	150	2,983	288	255	227	28	125	0	15	28	82	0	0	207	207	0	0	15,764
10月	4,544	4,082	2,678	64	1,212	128	194	125	69	268	43	15	28	182	0	0	258	171	0	0	12,447
11月	6,156	4,822	2,257	244	1,863	458	249	160	89	1,085	65	19	34	350	400	217	116	0	0	0	11,050
12月	8,498	1,847	977	162	446	262	69	62	7	96	20	14	19	43	0	0	0	0	0	0	6,486
1月	2,283	1,573	1,485	88	0	0	176	67	109	534	24	16	25	469	0	0	161	161	0	0	13,020
2月	3,222	2,638	2,469	169	0	0	198	138	60	386	22	23	47	70	0	224	401	401	0	0	12,278
3月	20,477	19,597	8,175	260	10,423	739	298	253	45	582	108	26	67	381	0	0	62	62	0	0	21,427
計	95,740	85,451	42,870	2,319	37,165	3,097	2,982	2,382	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	1,575	0	0	169,550

令和4～5年度 春期企画展
「印章一刻まれてきた歴史と文化―」
終了報告

1 概要

【内容】

「漢委奴国王」印から始まった日本の印章文化。中央や地方の支配者が使用するようになった印章は、その後庶民にも浸透した。山梨では江戸時代に「印聖」と呼ばれた高芙蓉が出るなど、歴史的にも印章と関わりの深い地域である。本県の印章産業は、文久年間（1861～63）に水晶印の篆刻から始まったといわれ、現在印章の生産量全国一位を誇る、県内有数の地場産業となっている。

本展では、デジタル化・オンライン化が急速に発展する中で、改めて注目を集める印章の役割とその変遷について、歴史的、文化・芸術的な視点で紹介し、人々と印章の未来を考える機会となる展覧会とした。

【期間】 令和5年3月11日（土）～5月8日（月）
会期日数59日（開館日数51日）

【主催】 山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送

【後援】 市川三郷町、山梨県印章業連合会、山梨県印章店協同組合、山梨県印判用品卸商工業協同組合、六郷印章業連合組合 ほか

【観覧料】 一般1,000（840）円、大学生500（420）円
※（ ）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引
※ 常設+企画共通 一般1,260円、大学生590円

【主な展示資料】

金印「漢委奴国王」（国宝・福岡市博物館）、銅印「山邊郡印」（重要文化財・国立歴史民俗博物館）、正倉院古文書複製（国立歴史民俗博物館）、穴山信友夫人像（山梨県指定文化財、身延町・南松院）、武田信虎朱印状（山梨県指定文化財・富士河口湖町西湖区）、武田家朱印状（山梨県指定文化財、当館蔵ほか）、豊臣秀吉御内書（長野県宝・真田宝物館）、遠浦帰帆図（重要文化財・京都国立博物館）、陸奥奇勝図巻（重要文化財・九州国立博物館）、雪村自画像（重要文化財・大和文華館）、徳川家宣国書写（九州国立博物館）、真田信之印章（真田宝物館）、水晶印（百瀬康吉水晶工芸コレクション・山梨大学）、六郷印章関係資料（印章資料館）、甲州文庫印章関係資料（当館蔵）等 214件。

【関連イベント】

○記念講演会

第1回「金印の時代の九州北部～漢委奴国王とは何者か～」

講師：朝岡俊也氏（福岡市博物館学芸員）

日時：3月21日（火・祝） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：69名

第2回「古代日本の文書行政と印」

講師：平川南氏（当館名誉館長）

日時：4月16日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：56名

第3回「印聖 高芙蓉と近世を代表する文人たち」

講師：守屋正彦（当館館長）

日時：4月29日（土・祝） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：36名

○かいじあむ講座

第1回「戦国大名のハンコ行政～武田氏を中心に～」

講師：海老沼真治（学芸員）

日時：3月26日（日）

場所：生涯学習室

参加者：36名

第2回「書画に見る落款印」

講師：松田美沙子（学芸員）

日時：5月6日（土）

場所：生涯学習室

参加者：40名

○学芸員によるギャラリートーク

日時：4月2日（日）、30日（日） 15：00～16：00

場所：企画展示室

○篆刻体験

日時：3月12日（日）、18日（土）、19日（日）、21日（火・祝）、4月29日（土）、30日（日）、5月3日（水）～7日（日）

各回10：30～15：00

講師：山梨県印章店協同組合、六郷印章業連合組合

場所：ロビー

参加者：合計388名

【発行物】 図録 A4版・128頁 800部（ショップ販売分を除く）

2 入場者数

【入館者数】 14,346名（1日平均入館者数：281名）

3 広報

- 【印刷物】 ・ポスター B2 1,500枚 B3 200枚
・ちらし A4 50,000枚
【マスコミでの紹介】 ・新聞記事（山日新聞 連載など）

3 総括

- ・令和2年度から進められた国の押印廃止政策による影響を受けた県内の印章産業について、県として支援を行う施策の一環として開催した。3月29日には知事も来館し展示を視察した。
- ・県内の地場産業を本格的に取り扱った企画展としては、平成28年の「葡萄と葡萄酒」展以来のものとなる。
- ・展示の目玉のひとつとして、「金印」の出品交渉を早期に行い、許可を得ることができた。
- ・開催にあたっては県産業労働部産業振興課、市川三郷町観光商工課、県内印章関係団体と連携し、展示内容やイベント等の計画を立案した。
- ・特に印章関係団体から積極的なご協力をいただき、ロビーにおける特設展示や篆刻体験の指導、広報等で支援を得た。団体としても印章産業PRの場として、企画展を有効に活用していただいた。
- ・印章産業が盛んな市川三郷町からも、展示資料の出品や広報などで協力を得た。企画展を契機として、地場産業や地域との連携を促進するモデルケースとなった。
- ・図録はミュージアムショップ販売分として、会期中に650冊を超える売り上げを記録し、関連グッズも金印関係を中心に品切れとなるものも出た。
- ・総入場者数は、この時期の企画展としては堅調な数字となり、特に金印の実物展示期間中は1日1000人を超える日もあるなどの好評を得た。一方で金印実物展示終了後、とくに4月中旬頃は低調な日があり、広報戦略などで反省点も残った。

資料・情報委員会の答申状況について

1. 令和4年度 資料・情報委員会委員一覧（五十音順、敬称略）

氏名	専門分野	肩書
新井 勝紘	日本近代史	元専修大学教授
黒田 基樹	日本中世史	駿河台大学副学長
小島 孝夫	民俗学	成城大学教授
鈴木 卓治	情報工学	国立歴史民俗博物館教授
鈴木 麻里子	日本美術史（彫刻）	山梨県文化財保護審議会委員
内藤 正人	日本美術史（絵画）	慶應義塾大学教授
新津 健	考古学	元山梨県埋蔵文化財センター所長
西村 慎太郎	日本近世史	国文学研究資料館教授

※任期は2年間（R4. 4. 1～R6. 3. 31）

2. 令和4年度 第1回（通算第35回）の開催状況

【開催日時】令和5年3月23日（木）14:00～16:00

【出席者】新井委員、鈴木（卓）委員、鈴木（麻）委員、内藤委員、新津委員、西村委員

※黒田委員、小島委員は欠席

【審議内容】

(1) 委員長及び委員長代理選任

委員の互選により、新津健委員に委員長、鈴木麻里子委員に委員長代理を選任。

(2) 運営要綱の改正について

運営要綱の改正について審議、全員一致で承認。

(3) 資料の収集について

12件（1,792点）の収集資料候補（購入・寄贈・寄託）についての審議を行い、すべて収集が適正であると決議された。

【審議資料】

(1) 購入 3件

1	葡萄図 (天龍道人筆)	1幅	江戸時代の画家、天龍道人が描いた墨画の葡萄図。天龍道人は八ヶ岳などに多く作品が残っているが、葡萄の絵を得意としたことから、俗に葡萄和尚とも呼ばれた。
2	下岩下村大徳院浄瑠璃口演ちらし	1枚	下岩下村の大徳院で行われた浄瑠璃口演の広告。若者組の活動や農村部への芸術文化の伝播と浸透の様子をうかがうことができる。

3	蔵原村鎧堂浄瑠璃 口演ちらし	1 枚	蔵原村の鎧堂で行われた浄瑠璃口演の広告。若者組の活動や農村部への芸術文化の伝播と浸透の様子をうかがうことができる。
---	-------------------	-----	---

(2) 寄贈 4件

1	金櫻神社晩春之図	1 幅	金峰山山頂に至る登山道のうち、里宮御嶽金櫻神社から山頂の本宮、五丈岩までの登山道を描いている。江戸時代に制作され、木版で摺られた「甲斐国金峰山金櫻神社御嶽山晩春之図」と類似した図像を示すため、それをもとに制作された可能性もある。
2	S家資料	122 点	若尾逸平の親族にあたる、若尾義角の系譜の家に伝来した資料群。若尾家関係資料のほか、同じく逸平の親族である三枝雲岱の屏風や下絵類で構成されている。
3	S家文書	131 点	松本村（現笛吹市）で村役人を務めたS家に伝わった古文書。宗門人別改帳・五人組帳などの村方文書が中心。
4	端午節供飾り	一式	昭和 17 年(1942)に購入された端午節供の飾り一式。内箱に日本玩具統制協会のシールが貼られている。

(3) 寄託 5件

1	広済寺文書	32 点	室町時代の甲斐国守護武田信春によって創建された広済寺（臨済宗向嶽寺派）に伝わる古文書。山梨県内では数少ない室町期の古文書が含まれる。
2	阿弥陀三尊来迎図	1 幅	一仏二菩薩形式の阿弥陀来迎図。画面斜めの構図を取り、観音菩薩と勢至菩薩を脇侍に、阿弥陀如来が往生者を迎えにくる様が描きだされている。甲州市指定文化財。
3	八木図 木喰作	1 幅	身延町出身の江戸時代の僧侶・木喰による版画。自身の 88 歳の米寿を記念し、自画像に和歌を添えて配布したもの。
4	T氏収集資料一式	10 点	北杜市在住のT氏が個人で収集した浮世絵類。葛飾北斎の「富嶽三十六景」のうち、「神奈川沖浪裏」や「凱風快晴」、「甲州石班澤」などが含まれる。
5	O家文書	1,490 点	大久保村（現富士川町）の村役人を務めたO家に伝わった古文書。『増穂町誌』に一部が紹介されているほか、『大久保村文書目録』で目録化・公開されている。

新型コロナウイルス感染症に対応した展示室の利用制限の解除について

○概要

山梨県立博物館においては、新型コロナウイルス感染症の流行以降、感染拡大防止のため、展示事業の休止や縮小に取り組んできました。重症化率の顕著な低減がみられた第7波以降は、企画展を含む展示事業を休むことなく対策を実施してきましたが、利用者の接触が前提となるコーナーが多い常設展示の体験型展示の大部分につきましては、ひきつづき利用の制限を実施してまいりました。令和5年に入り、リスクの少ないコーナーの段階的な制限の解除を行い、5月8日の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの第2類から第5類への移行を受け、この度ほぼ全面的な展示室の利用制限の解除を実施いたしました。

○経緯・対応状況

【令和2年】

- ・ 2月28日 展示業務の休止（5月21日まで）
- ・ 4月8日 東京都などの緊急事態宣言の発出にともない臨時休館措置（本県においては4月16日発出）
- ・ 5月22日 常設展示の再開
- ・ 6月17日 ソーシャル・ディスタンスに対応した拡大常設展「かいじあむ+」開催
- ・ この年 春・北斎漫画、初夏・若尾逸平、夏・特撮のDNA の3展覧会を中止とする

【令和3年】

- ・ 8月8日 臨時特別協力要請により22日まで休館措置（9月12日まで延期）
それに伴い昨年度より延期して開催した「特撮のDNA」展は再度中止

【令和5年】

- ・ 2月15日 ひきだし型ケース、タッチパネル端末の利用再開
- ・ 5月8日 新型コロナウイルス感染症の第5類移行を受けて館内対応の変更
- ・ 5月10日 体験型展示の大部分（体験グッズの老朽化とメンテナンスの問題がある「歴史衣装の現場」を除く）利用再開



閉鎖していた体験型展示



タッチパネルをふさぐパネル



封印したひきだし型ケース